

採用スケジュール 一般職（大卒程度）

	国家公務員採用試験（人事院）	中部地方整備局のイベント
3月	3/1～3/20 受験申込み受付（インターネット）	3月以降 業務説明会 座談会など
4月		
5月		
6月	6/11 第一次試験（行政：基礎能力、専門、一般論文） （技術：基礎能力、専門）	7/5 官庁訪問予約開始 官庁訪問
7月	7/5 第一次試験合格発表 7/12～7/28 第二次試験（人物試験）	
8月	8/15 最終合格発表	
10月		10/1 採用内定

最新の試験・採用情報は、人事院の「国家公務員試験採用情報NAVI」をご覧ください。



一般職（高卒者）、一般職（社会人試験（係員級））の採用スケジュールは、人事院から発表され次第、こちらに掲載します。



社会人採用（係長級）の採用スケジュールは、日程が決まり次第、こちらに掲載します。

※港湾採用については、下記WEBサイト内の港湾ページをご確認ください。



近年の採用状況（一般職）

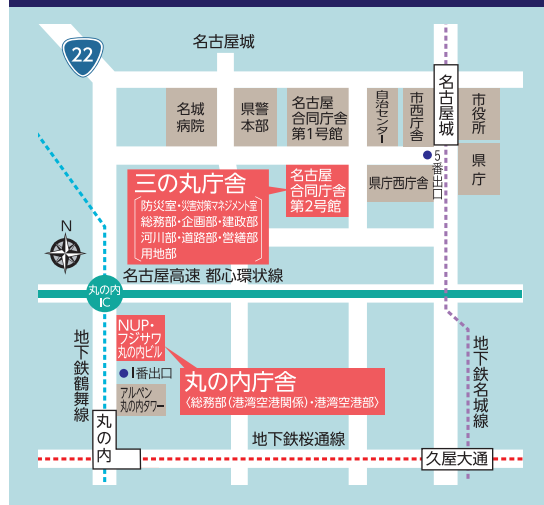


試験の区分採用【実績】

入省年度		H30	H31	R2	R3	R4	R5
一般職（大卒程度）	事務系	11	23	21	26	27	25
	技術系	24	37	37	25	36	42
一般職（高卒程度）	事務系	1	0	6	1	4	2
	技術系	8	7	12	19	17	27
採用者数		44	67	76	71	84	96

【大卒程度】 行政（関東甲信越地域・東海北陸地域）、土木・機械・デジタル・電気・電子・建築・物理・化学・農学・農業農村工学・林学
【高卒者】 事務（関東甲信越・東海北陸）、技術（関東甲信越・東海北陸）、農業土木・林学

中部地方整備局位置図



三の丸庁舎

防災室／災害対策マネジメント室
総務部／企画部／建設部
河川部／道路部／営繕部
用地部

〒460-8514
名古屋市中区三の丸二丁目5番地1号
（名古屋合同庁舎第2号館）
地下鉄名城線「名古屋城」駅下車
5番出口から徒歩3分

【建設部門】

河川、道路、建設、営繕、
情報通信・電気、機械、防災

▶行政／総務部人事課企画係
0800-888-3166（通話無料）
▶技術／企画部企画課企画第一係
0800-500-3166（通話無料）

丸の内庁舎

総務部（港湾空港関係）
港湾空港部

〒460-8517
名古屋市中区丸の内二丁目1番36号
（NUP・フジサワ丸の内ビル）
地下鉄桜通線・鶴舞線「丸の内」駅下車
1番出口から徒歩1分

【港湾部門】

港湾

▶行政／総務部人事課
052-209-6314
▶技術／港湾空港部港湾事業企画課
052-209-6324

WEBサイト 中部地方整備局の気になる情報や採用スケジュールをこまめにキャッチ！

<https://www.cbr.mlit.go.jp/recruitment/>



SNS

若手職員からのメッセージや採用情報などを発信しています。是非チェックして下さい！

建設部門



▶Instagram
<https://www.instagram.com/cbr.recruit>



▶Twitter
https://twitter.com/mlit_chubu_rec



▶Twitter
港湾空港関係／採用(@mlit_cbr_rec_p)
https://twitter.com/mlit_cbr_rec_p



どまんなか 支えない？



国土交通省 中部地方整備局 入省案内2023

中部地方整備局のMISSION

我々は、インフラ整備を生業としております。

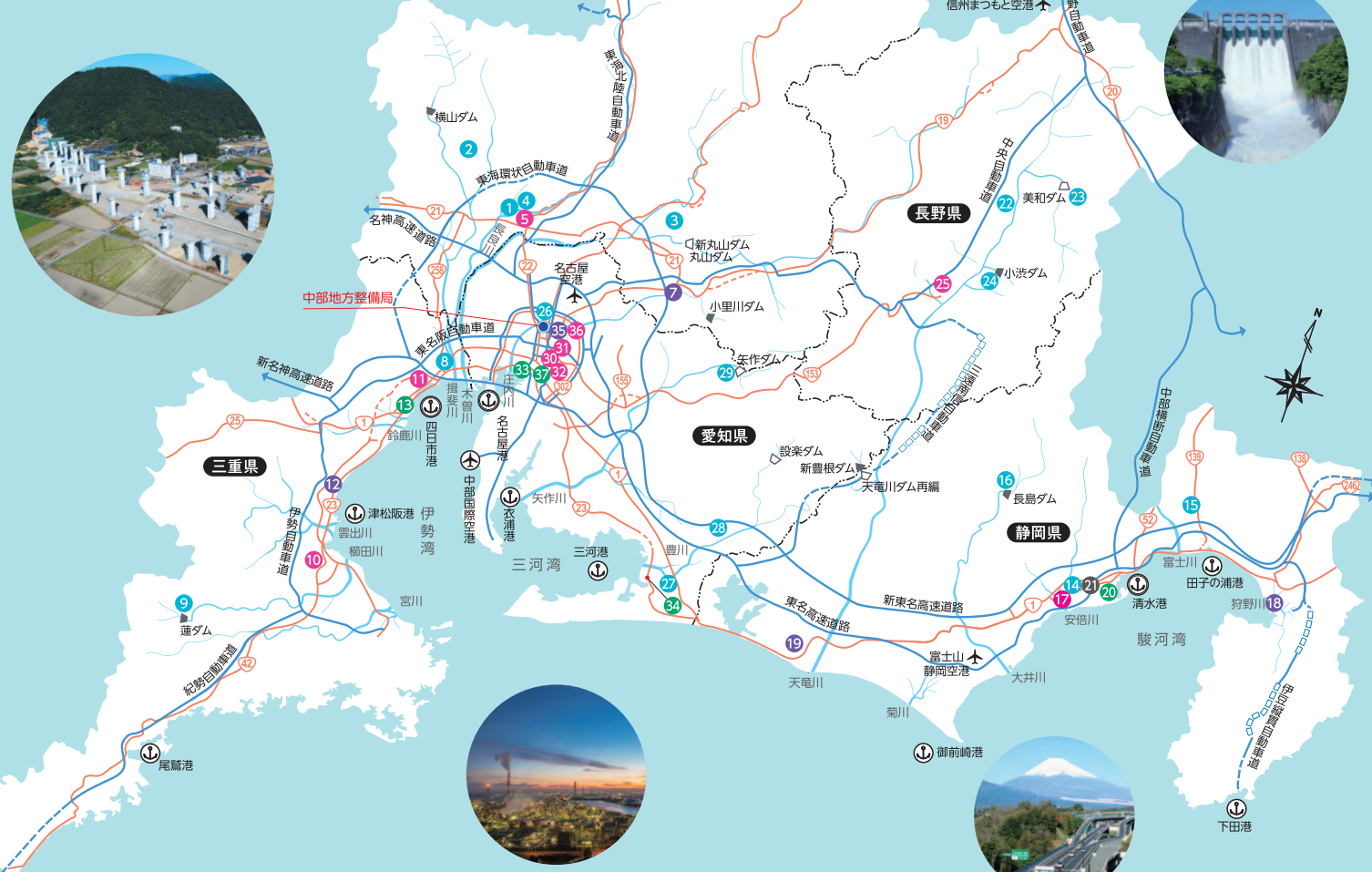
だけど、それは目的ではありません。手段です。

中部圏全体のQOL (Quality of Life) を高めること。

SDGsなどの世界的課題解決をすること。

中部圏隅々まで豊かさを供給することが、

我々のMISSIONです。



管内事務所・事業位置図

河川 道路 混合 港湾 その他

岐阜県

- 1 木曽川上流河川事務所
- 2 越美山系砂防事務所
- 3 新丸山ダム工事事務所
- 4 木曽川水系ダム統合管理事務所
- 5 岐阜国道事務所
- 6 高山国道事務所
- 7 多治見砂防国道事務所

三重県

- 8 木曽川下流河川事務所
- 9 津島ダム管理所
- 10 紀勢国道事務所
- 11 北勢国道事務所
- 12 三重河川国道事務所
- 13 四日市港湾事務所

静岡県

- 14 静岡河川事務所
- 15 富士砂防事務所
- 16 長島ダム管理所
- 17 静岡国道事務所
- 18 沼津河川国道事務所
- 19 浜松河川国道事務所
- 20 清水港湾事務所
- 21 静岡営繕事務所

長野県

- 22 天竜川上流河川事務所
- 23 三峰川総合開発工事事務所
- 24 天竜川ダム統合管理事務所
- 25 飯田国道事務所

愛知県

- 26 庄内川河川事務所
- 27 豊橋河川事務所
- 28 設楽ダム工事事務所
- 29 矢作ダム管理所
- 30 名古屋国道事務所
- 31 愛知国道事務所
- 32 名古屋港湾事務所
- 33 三河港湾事務所
- 34 中部技術事務所
- 35 中部道路メンテナンスセンター
- 36 名古屋港湾空港技術調査事務所



▶ 詳細な管内図を見たい方はこちら

凡例

- ① 国際拠点港湾
- ② 重要港湾等
- ③ 拠点空港
- ④ その他空港
- ⑤ 主なダム(管理中)
- ⑥ 主なダム(再開発・建設・実調中)
- ⑦ 高規格幹線道路(開通済)
- ⑧ 高規格幹線道路(事業中)
- ⑨ 高規格幹線道路(調査中)
- ⑩ 主な国道/直轄管理(開通済)
- ⑪ 主な国道/直轄管理(事業中)
- ⑫ 主な河川/直轄管理

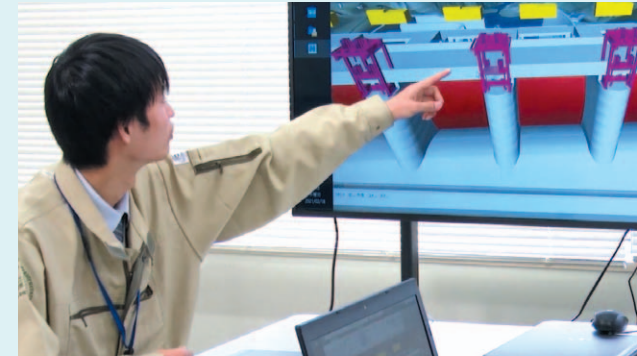
※導入に向け、検討・調整段階の取り組みも掲載しています。

Pick up PROJECT

デジタルで社会を変えろ!

中部インフラ **DX**

建設技術への導入



▶ 経験が少なくても、同じ目線で議論ができる



▶ 皆が同じイメージを共有できる

『いいね!』いっぱい 3Dモデル R5からすべての設計を3Dで!

POINT 1

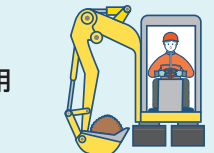
若手でも設計上の問題点を簡易に発見

POINT 2

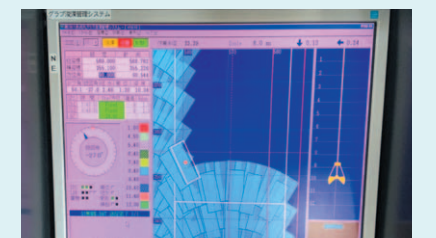
地域住民とイメージ共有・対話が進む

POINT 3

建設機械の操作・制御に活用
働きやすい工事現場

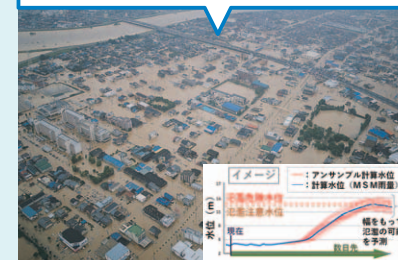


▶ 水の中の作業も進捗状況をリアルに把握



行政サービス・働き方への導入

大雨からみんなを守れ! 洪水予測の高度化



- ▶ より早いタイミングで情報提供
- ▶ 事前の機器配備により被害甚大化回避
- ▶ 住民避難の早期実施

<AI活用> 交通障害を早期発見!



- ▶ 2000台以上のカメラを自動解析
- ▶ 交通障害を自動検知し速やかに対応
- ▶ 道路利用がより安全に

被災地支援にアプリ導入!



- ▶ 現地写真を逐次共有!
- ▶ 隊員の位置情報を常時把握し、迅速に活動をバックアップ
- ▶ TEC活動をスピードアップ

Contents

防災関係事業	3	港湾関係事業	9	情報通信・電気関係事業	13	女性職員の活躍	16	若手職員の日常	21	研修体制	25
河川関係事業	5	建政関係事業	11	機械関係事業	14	キャリアアップ	17	若手職員アンケート	22	Q&A	26
道路関係事業	7	営繕関係事業	12	ワークライフバランス	15	事業の流れ	19	若手職員のVOICE	23		

※パンフレットで紹介している職員の所属および現職は、特に記載のない場合、令和3年(2021年)3月時点のものです。

仕事とプライベートの充実

テレワーク環境完備!

集中して仕事したい時、家の近くで用事がある時など、柔軟な働き方が可能に!





防災



浚渫兼油回収船「清龍丸」



排水ポンプ車による排水作業
※排水ポンプ車は1台で25mプールの水を約10分で排水することができます。



南海トラフ地震等の大規模

災害に備えて確かな防災力を



防災ヘリコプター「まんなか号」



Car-SATによるドローン映像伝送



災害対策本部

被災状況調査 (情報収集・共有)

中部地方整備局に配備されている防災ヘリコプター「まんなか号」は、災害時にいつでも出動できるよう待機し、要請があれば直ちに現場に向けて発進して上空から広域的な調査を行います。

まんなか号やドローンのカメラ映像をヘリサット、Car-SAT(衛星通信が可能な車両)といった衛星回線を使用し、災害対策本部等にリアルタイムに配信、共有します。



防災ワークショップ2022 中部

南海トラフ地震対策 中部圏戦略会議

南海トラフ地震等に備え、中部圏の国、地方公共団体、学識経験者、地元経済界などの135機関が幅広く連携し、被害の最小化、迅速な応急対策及び早期復旧、地域全体の円滑な復興のため、戦略的に防災対策に取り組んでいます。

中部地方整備局は本会議の事務局として、取組みのフォローアップや取りまとめ、ワークショップの開催等による広報・啓発活動などを行っています。





事業紹介

誰もが安心して暮らせる地域に

河川



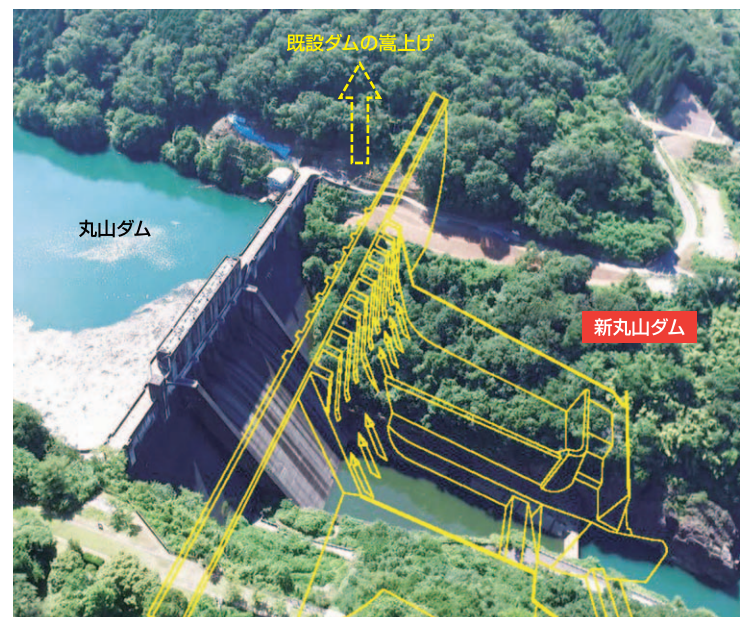
地すべりブロック

日本の大動脈をまもる(由比地すべり対策)



河川の改修

河道掘削や樹木伐採により川の流れる断面を大きくしたり、洪水に対して安全な堤防構造とするため、堤防の嵩上げや護岸の整備を実施し、近年、激甚化・頻発化する豪雨からのちとくらしを守ります。



ダム再生 (新丸山ダム)

丸山ダムの機能を増強するため、ダムの直下流に嵩上げたダムを建設する事業です。工事期間中も既存ダムの機能を維持しつつ、大規模な嵩上げをする必要があるため、先駆的な技術を取り入れ事業を実施しています。



大規模な工事 (駿河海岸)

高潮・波浪から守るため、海岸において波浪・浸食対策の整備を実施しています。



水辺空間の利用 (リバーポートパーク美濃加茂)

地域のにぎわいの場の創出、水辺へのアクセスを良好にする等、親しみのある水辺空間の整備を自治体と連携行っています。



防災意識・環境保全 意識向上の取組

自然災害からのちを守るための能力を養うため、小学校等において防災教育を実施しています。また、環境保全の意識向上を目的として、河川を活用した環境学習を実施しています。



職員による 報道機関への情報発信

大型台風襲来や前線を伴う大雨などの非常時には、住民の避難行動につなげるため、記者会見や職員による報道機関への情報発信などの取り組みを実施しています。



平成28年度入省／土木
河川部 河川計画課

梶原 啓太

令和2年7月豪雨をはじめ、近年激甚な水災害が頻発しています。国土交通省では、近年の甚大な水災害リスクに備えるため、河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者により、流域全体で行う「流域治水」への転換を始めました。私は、この「流域治水」により洪水被害を防ぐため、各河川における整備の手順や予算計画の立案などに携わっています。この他にも、工事の現場監督や維持管理など河川事業は、多岐にわたる事業がたくさんあります。

また、国ならではのビックプロジェクトに携わることができ、「河川の氾濫から地域の暮らしや命を守る」仕事につながるため、非常に大きなやりがいを感じます。みなさんと中部地方を支える仕事を一緒にできることを楽しみにしています!!

※所属は令和5年3月現在



令和元年度入省／行政
河川部 水政課

鵜飼 真帆

河川部水政課では、河川の区域を定める行為、河川の敷地や流水を利用したり、砂利採取を行うための許可、河川に係る裁判など河川法等の手続き全般に係る事務を行っています。その中でも私は、河川区域内の使用に関する許可事務を担当しています。河川にある橋や公園などは、洪水時に支障にならないか審査されて、許可を得て設置されています。申請内容を適正に審査し、許可を行うことは、責任を伴うことです。常に緊張感をもって取り組んでいます。

また、業務を行いながら河川法をはじめとした法令も日々勉強しています。デスクワークが基本ですが、実際に現場へ行き、自分の目で確認して担当している仕事への理解を深める機会もあります。

中部地方整備局には、熱心で、頼れる職員ばかりで、仕事を通じて様々なことを学べる職場です。ぜひ、一緒に働きましょう!!

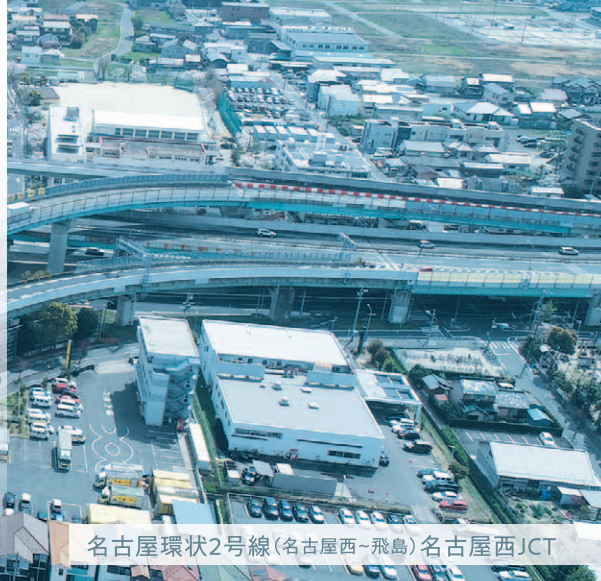


事業紹介

まんなかで日本をリード
~未来の暮らしの礎を築く~

道路

名古屋環状2号線(名古屋西~飛鳥)名古屋西JCT



国道138号須走道路・御殿場バイパス(西区間)



道路の新設・改築 (東海環状自動車道 岐阜IC)

愛知・岐阜・三重の3県を結ぶ東海環状自動車道の整備により、広域的にもっと便利になります。道路沿線には、自動車産業をはじめとする企業進出が進み、「ものづくり中部」がもっと元気になる等、道路の整備により物流ネットワークの強化をはじめ、防災機能の確保、地域間の連携を支援しています。



大規模な工事

国だからできる大規模な工事を経験することにより、技術者として幅広い知識を得ることができ、皆さんの成長に繋がります。



道の駅

「道の駅」は、休憩、情報発信、地域連携、防災拠点の機能を有し活力を生むため、地域と連携して整備しています。



道路の維持管理

誰もが安心して道路を利用できるよう、道路巡回、清掃、除雪等の日常的な維持作業や、施設点検の結果を踏まえた計画的な補修工事、大規模災害に備えた防災対策等により、日々の暮らしを支えています。



安全対策

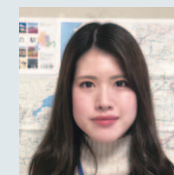
歩行者、自転車、自動車など、道路を利用するすべての皆様が、交通事故のリスクを低減できるよう、自転車道、歩道整備等の交通安全対策を実施しています。



けんせつ小町 「チーム愛」※

幅広い業種・世代の女性技術者の交流を図る等、女性が働きやすい建設現場の環境整備に取り組んでいます。

※愛知国道事務所の取り組みとして、事務所職員と建設企業の女性技術者で結成



平成28年度入省／土木
道路部 計画調整課

富田 実菜美

私はいま、「道の駅」「日本風景街道」といった、「道路」を地域づくりの舞台として活かそうと頑張っている地域を支援する仕事をしています。

誰もが一度は訪れたことがあるであろう「道の駅」は、新鮮な農産物などが買える観光施設という印象を持つ方が多いと思います。しかし、道路利用者の休憩所、情報提供の場として整備された道路施設のひとつでもあり、災害時には自衛隊等の活動場所や避難所としても役割を果たします。

一口に「道路」と言っても、さまざまな機能や施設を持つため、多方面から事業に携わることができます。これまで、道路管理や新設の工事発注なども経験し、仕事の成果が現場で目に見えるカタチとなることは、大きな達成感とやりがいに繋がるとともに、道路事業の魅力だと強く感じています。ぜひみなさんも、私たちと一緒に道路事業から中部地方を盛り上げていきましょう。



平成29年度入省／行政
道路部 路政課

田中 一成

私は、道路上に電気・ガス・水道等のライフラインや沿道店舗の看板等を設置する際に必要な「道路占用許可」等の事務を担当しています。道路占用の分野では、多様なニーズに対応するための「特例制度」が打ち出されます。最近では、「コロナ占用特例」として、感染症対策や沿道飲食店等を支援するため、原則認めていない路上利用(テラス営業、テイクアウト販売)を可能としています。私は、地方公共団体等の関係機関と調整し、中部地方での施策の展開を推進しています。

道路行政は、時代の情勢によって目まぐるしく変化します。そのため、道路法や関連通達等を正確に解釈し対応することが大変ですが、それ以上にやりがいを感じています。全国の整備局の方々と意見交換をする機会も多く、良い経験を積みんでいます。

私は、生まれ育った中部地方の安全・安心な生活を支える役割を担うこの職場が大好きです。ぜひ、みなさんもチーム整備局の一員となり、一緒に頑張りましょう!

中部の暮らしを支える港湾

港湾

清水港

四日市港

大型の作業船を駆使した港湾工事

四日市港震ヶ浦地区北ふ頭岸壁（W81）

コンテナ等の貨物量が増加している四日市港において、ふ頭内の混雑解消及び効率的な荷役が可能な施設整備を行うとともに、大規模地震が発生した際に、四日市港でも物流機能を維持できるようにするための事業を実施しています。



三河港防波堤

三河港では、船舶が安全に航行・係留できるように防波堤整備事業を実施しています。防波堤には、港内を静穏に保つ機能の他に、台風による高潮や地震による津波に対して、一定の低減効果が期待できる防波堤もあります。



港の物流機能を確保しながらの改良工事

大型化する船舶が係留できる岸壁を整備するため、改良事業を実施しています。工事期間中も、物流への影響を極力抑えるため、隣接する岸壁等の利用に配慮しながら、工事を行っています。



名古屋港飛島ふ頭東側岸壁



清水港興津岸壁

クルーズ船の寄港
（四日市港）

クルーズ船の寄港を活かした地域振興を図るため、クルーズ船に対応した岸壁の改良事業やイベントの支援など、地域と連携した取り組みを行っています。

海岸堤防の改良
（津松阪港）

伊勢湾台風（1959年）を契機に整備された海岸堤防の老朽化が進行しているため、改良事業を実施しています。

海洋環境整備船
「白龍」による流木回収

大雨などにより、河川から海域へ流木等が流入することがあります。船舶の安全な航行や環境保全の観点から、「白龍」を用い、流木等の回収を行っています。



海の環境学習

海をより身近に感じてもらうとともに、海の環境について考えてもらうため、環境学習を開催しています。

平成11年度入省／土木
港湾空港部港湾計画課
課長補佐

舟橋 香

港湾事業・海岸事業には、予算・計画・調査・設計・施工・維持管理・環境・地域振興など、様々な業務があります。また、中部管内には名古屋港や四日市港、清水港などがありますが、各港で特徴が異なることから、港が変われば仕事内容も変わります。

私は、これまでに名古屋港の予算や設計、四日市港の計画や調査、伊勢湾の海域環境などの業務に携わってきました。2～3年ごとに異動があるので、新しい分野の業務に携わることが多く、異動のたびに新鮮な気持ちになります。

現在は、海岸事業の予算や計画に関する仕事に携わっています。以前、海岸事業を担当した際、地域の皆さんと一緒にどのような海岸が良いか考え、整備計画を作成したのですが、その海岸が整備を終えて地域の皆さんに利用されているのを見ると、地域に貢献できたかなと感じます。

平成28年度入省／土木
名古屋港湾事務所 工務課

金澤 宜大

日本に輸出入される貨物の99.6％は港湾を利用しており、中でも名古屋港は、総取扱貨物量が17年連続日本一であり、中部のものづくり産業と私たちの生活を支えています。

私は現在、そんな名古屋港の港湾施設の設計に関する仕事に携わっています。施設の安全性は大前提とし、使いやすさや、いかに予算を抑えた構造にするか等を考えながら取り組んでいます。自分の設計したものが実際にできあがっていくのが楽しみな一方、今後何十年も利用されていくことを考えると、とても責任のある仕事であると感じています。

中部地方整備局の仕事は多岐にわたり、とても大きな仕事に携わることが出来ます。また、様々な業務を通じて自分のスキルを伸ばすことが出来るので、非常にやりがいを感じられる職場です。



都市の課題に即した
まちづくりを応援します

建政



Hisaya-odori Park(名古屋市)



災害に強い公共建築で
地域を支えます

営繕



営繕の仕事について、
もっと知りたい方はこちら



国営木曽三川公園

木曽川・長良川・揖斐川の木曽三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用した国営木曽三川公園は、全国の国営公園の中で入園者数が最も多い公園となっています。今後も魅力的な整備を進めていきます。



建設業の担い手確保

建設業の将来の担い手にとって魅力ある産業へ変えるため、長時間労働の是正や現場の処遇改善の推進などの『建設業の働き方改革の推進』や、限りある人材の有効活用を通じて『建設現場の生産性の向上』に取り組むことにより、担い手の確保や若者の入職促進を進めています。



地域との連携 (高山地方合同庁舎)

地方公共団体等と連携して官庁施設の整備を行うことで、地域の個性を尊重した魅力あるまちづくりに貢献します。高山地方合同庁舎では、水平に連続する軒庇、縦格子をイメージした外装など「高山らしさ」を表現し、良好な景観形成に配慮しています。



市街地再開発

多治見駅前再開発(岐阜県多治見市)

中心市街地の再生・活性化など、土地の合理的かつ健全な高度利用による都市機能の更新及び都心住居の促進を支援しています。



歴史まちづくり

無電柱化、街なみ景観保全等支援(岐阜県高山市)

映画やドラマのロケ地となった歴史的な町並み。次世代に継承すべき地域固有の歴史的文化的資産の維持・向上、それらを活用したまちづくりを支援しています。



空き家の活用

(三重県伊賀市)

空き家住宅や空き建築物に対し、ホテルや芸術家の工房等への活用を支援しています。



耐震改修、津波対策

(清水港湾合同庁舎)

災害時に対応を行う国の行政機能は、いかなる状況でも停止することが許されません。官庁施設の耐震化や防災拠点の整備を通じて地域の安全・安心を支えています。



木材利用

(静岡地方法務局藤枝支局)

公共建築物の木造化を図るほか、エントランスホール等において内装を木質化することで木材の利用を推進しています。



平成13年度入省／建築
建政部 都市整備課
係長

小川 直庸

皆さまが考える地方整備局の仕事は、道や堤防、ダム、建物などを「造る」仕事だと思いますが、実は地域を「支える」仕事もしています。都市整備課では、自治体のまちづくりの一部である街路、都市再生、下水道、公園などの整備を様々な制度や交付金などで支援していて、私はこのうち公園を担当しています。いろいろな公園の課題を解決するために、交付金や制度、法令などについての相談があり、幅広い知識が必要とされ大変です。しかし課題解決につながる助言ができたときや、他の職員と協力して色々な支援方法の組み合わせを提案し、より魅力的なまちづくりにつながったときは、大きなやりがいを感じます。



平成27年度入省／行政
建政部 計画管理課

阿部 柚希

計画管理課では、自治体が行うまちづくりに対する支援等を行っています。
まちづくりと言っても、自治体が目指すまちのかたちは様々で、歴史的資産や町並みを活かしたまちづくりを歴史まちづくりといいます。私は、歴史まちづくりに取り組む自治体と一緒にまちの魅力を発信する施策の企画や、歴史的資産の維持管理・活用に対して補助金を交付する仕事をしています。自分の仕事がかきかけでまちの魅力アップにつながり、そのまちを訪れる人が増え、賑わっているのを見るととても嬉しい気持ちになります。皆さんも私たちと一緒に、中部のまちがより魅力を発揮するためのお手伝いをしてみませんか。



平成31年度入省／建築
営繕部 整備課

伊藤 里帆

私は、建築の意匠担当として設計図面の審査などを主にしています。入居官署のニーズを伺いながら、より良い官庁施設となるよう整備課の技術力を行使して設計を進めています。国民の共有財産である官庁施設は、一定の技術基準を確保する必要があるため、ニーズと基準、どちらも満たしているか、詳細に図面を審査します。図面で描いたものが実際に施工されていく様子を見ることが出来るのが、この仕事の魅力だと思います。
上司や先輩方が的確なアドバイスをくださるので、入省2年目の私でも整備局の一員として少しは役立てたのではないかと感じています。専門性を活かして働きたいという方、ぜひ一緒に働きましょう。



平成30年度入省／電気・電子・情報
営繕部 整備課

宮地 明孝

営繕部整備課では、官庁施設の建物の新築や改修工事に関する設計や積算を行っています。
中でも私は電気設備分野を担当しており、主に受変電設備や発電設備、照明器具などが建築基準法などを満足した設計になっているかを、図面で審査しています。また、実際に現地の建物を調査に行き、施設管理者等と打合せをするなど、出張の機会も多いです。
私は建築の知識が無い状態での就職だったので不安はありましたが、上司や周りの方が優しく丁寧に仕事を教えて下さるので楽しく仕事ができています。また、職場でのコミュニケーションも多く、働きやすい職場なのでぜひ一緒に働きましょう。



事業紹介

情報通信技術を中部の未来のために

情報通信・電気

情報通信・電気の仕事について
もっと知りたい方はこちら



事業紹介

「機械」と「技術」で
地域のくらしを支える

機械

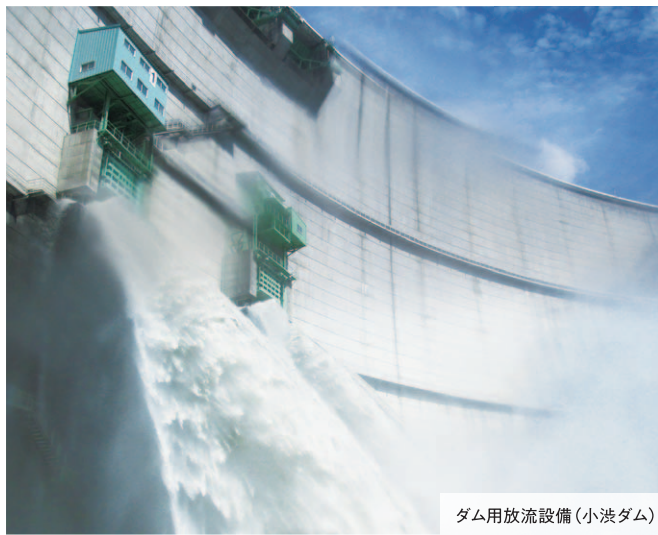
機械の仕事について、
もっと知りたい方はこちら



蛇峠レーダ雨量計

信頼できる安定した 情報通信基盤

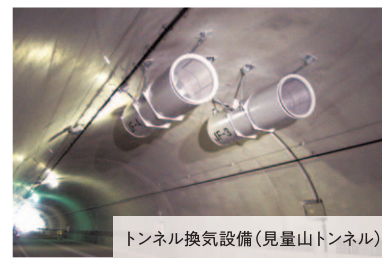
国土・社会インフラ管理には、様々な情報通信技術が活用されています。中部地方整備局管内においても、専用の多重無線回線と光ファイバ回線による強靱なネットワーク網や情報システム、電気設備等を構築し、インフラ管理や防災、減災のための迅速な情報収集、的確な情報提供を可能にしています。また、ICT、AI等を活用した業務の効率化、簡素化や、再生可能エネルギーの活用促進等に向けた検討も実施しています。



ダム用放流設備 (小波ダム)



河川用水門設備 (川口水門)



トンネル換気設備 (見量山トンネル)

安心安全な生活を 確保する機械設備

機械設備には、洪水時に地域住民を守るダム用放流設備、河川用水門設備、排水機場設備、及び良好な交通環境を確保するトンネル換気設備などがあります。これら機械設備の設計・施工、工事監督、及び機能を維持するための保守管理をしています。



仮設カメラ設置状況



衛星通信車を活用した映像伝送

迅速な情報収集

通常時はもとより、災害発生時においても様々な設備を用いて迅速に情報収集を行えるようにしています。収集した膨大なデータは、サーバで一元管理しています。



道路情報表示板

的確な情報提供

情報表示板、インターネット、地上デジタル放送等を介して、必要な情報をよりの確に利用者へ提供しています。



非常用発電設備

確実な電力供給

予備電源設備により、停電時においても情報通信設備等に電力を確実に供給します。



広域派遣活動 (令和元年台風19号) 宮城県吉田川での排水作業

河川道路の維持管理や 災害に備える建設機械

河川・道路施設における維持管理の効率化等を図るため、草刈機・除雪車などの維持管理用機械、及び風水害・地震などの災害発生時に迅速な緊急対策による被害拡大を防止するため、排水ポンプ車・照明車などの災害対策用機械を多く配備・管理しています。



平成12年度入省
／電気・電子・情報
丸山ダム管理所
専門官

三輪 光弘

私たちが管理している設備は、情報システム、通信ネットワーク、電気設備等様々です。全職員が完璧な知識を持っている訳ではなく、各々得意とする技術、知識を持った職員が互いに連携しながら、組織として幅広い技術力を発揮しています。

現在私は、中部地域の大きな河川である木曽川の丸山ダムにて電気通信施設の維持管理・整備を中心にダムの管理を行っています。令和2年7月の出水でも茶色く濁った水が丸山ダムへ流入しましたが、ダム下流域に被害がでないようにダム管理用制御処理設備にてゲート操作等を行いました。

また、平成26年に発生した御嶽山噴火災害や梨子沢土石流災害の際には、迅速に情報を収集、関係機関に映像情報等を提供し、二次災害の防止に寄与しました。私たちの任務が、国民の人命財産保護の一翼を担っていることに誇りを感じます。



平成29年度入省
／電気・電子・情報
沼津河川国道事務所
工務第一課

中山 百合子

私は現在、河川・海岸・砂防・国道等の整備管理等を担う事務所に勤務しており、それら公共インフラの管理に必要な電気通信施設の維持管理を担当しています。

電気通信施設と言っても情報表示板など普段皆さんがよく目にするものから、CCTVカメラ、トンネル内部の監視をするシステム等まで、公共インフラの管理を円滑に実施するための幅広い電気通信施設の維持管理をしています。電気通信施設を新設、更新するための設計や工事発注、管理といった一連の業務にも携わることができ、自分の意見も反映されやすいため、やりがいを感じます。

また災害発生時においても、電気通信施設は現場の情報収集のために重要な存在となります。

このように電気通信施設は日頃から住民の皆さんの安全を守るためには不可欠な存在です。是非一緒に働いて住民の皆さんの安全を守っていきましょう。



平成19年度入省／機械
中部技術事務所
防災・技術課
係長

渡邊 修明

国土交通省では、風水害や地震などにより、河川・道路に災害が発生した場合、迅速な応急対策や被害の拡大を防止するために災害対策用機械を配備しています。私の仕事は主に、災害対策用機械の運用・保守管理を担当しています。平常時は、防災訓練や啓発活動を行い、災害時は、被災地で迅速な災害復旧支援活動が行えるよう、機械の派遣に関する調整業務を行っています。災害対応では冷静な判断力と早い決断力が求められますが、日頃の業務における経験の積み重ねで判断力や決断力が育われます。現場にでる機会が多く、いろいろな経験ができて、とてもやりがいを感じられる仕事だと思います。国民の生命や財産を守るための重要な仕事ですので、皆さんの若くて柔軟な考え方を生かしてみてもいいのではないでしょうか。



令和2年度入省／機械
木曽川上流河川事務所
管理課

吉田 初世子

私たち機械職員は、河川や道路の維持管理における機械設備の設計、積算、施工、工事監督をしています。トンネル上部のジェットファンや河川の傍にある排水機場、山奥のダムなど普段意識して見ることのない場所に私たちの仕事があります。まさに地域住民の生活を陰ながら支える役割なのです。

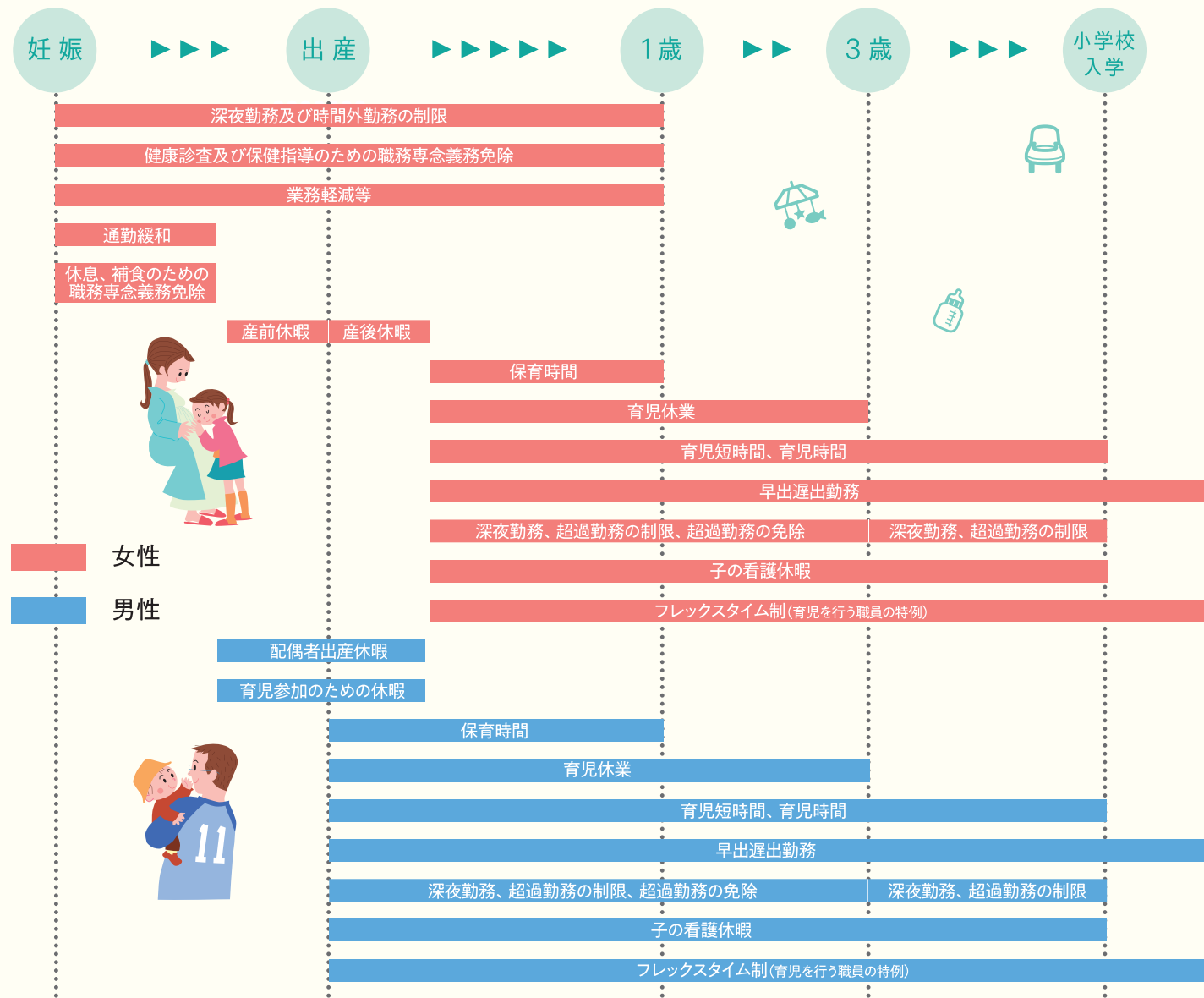
当たり前の毎日、変わらない日常を守ることによってどんな設備、行動が必要なのか、人が生活し続ける限り正解も終わりありません。

昔の考えから、新しい技術から、自分とは違う分野の人から、いろいろなアプローチでジャンルを問わず知識を深めることが出来るのが魅力だと感じています。

ワークライフバランス

中部地方整備局では、ワークライフバランスを推進し、男性も女性もともに働きやすい職場となるように、育児や介護等と両立して活躍できる勤務環境の整備に取り組んでいます。

仕事と育児の両立を支援するために整備されている様々な制度



※上記の他にも、不妊治療と仕事の両立を支援するための「出生サポート休暇」の制度もあります。

利用した制度、制度の利用時期・期間

①育児休業／H25.7.1～H25.9.30 ②育児休業／H29.10.23～H29.12.28



平成16年度入省／行政
越美山系砂防事務所
総務課
係長

酒井 俊輔

私が育児休業を取得したきっかけは、2人目の子が単身赴任中に生まれ、子どもと過ごす時間を確保するためでした。また、3人目の時には、妻の復職に支障無いよう入れ代わりで取得しました。2人目の時は、後で「整備局で男性の育児休業取得は初めて」と聞きましたが、周囲から否定的な意見は聞かえず、ありがたかったです。3ヶ月程度職場から離れる事で、育児に専念している事を実感できました。出産から育児休業をしていた妻と同様に過ごした事で、今も続く子育てを2人で考える事に繋がっていると思います。現在はフレックス制度で終業を早めたり、テレワークを活用しています。「男性の育児参加」と言われますが、参加ではなく、父親も育児の主体者です。でも、1人や夫婦だけで全部しなきゃと思わず、身内、友人、サークル、自治体、職場…色々な人や制度に頼りながら、何が出来るかを考える事で、両立も見えてくると思います。

利用した制度、制度の利用時期・期間

①育児休業／R1.9～11(期間3ヶ月)



平成25年度入省／土木
木曽川下流河川事務所
管理課
係長

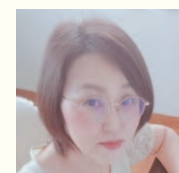
橋本 一輝

私は1人目の子供で、妻と一緒に育児を頑張っていきたいと思い育児休業を3ヶ月取得しました。職場から育児休業を取るにあたり、否定的な反応はなく、頑張れ！と応援して頂きました。育児休業を取得して良かったことは、育児の大変さを実感することができたことです。抱っこしても寝てくれない、1～2時間で起きるため全然眠れない、初めてのことばかりでうまくいかない等、本当に大変な3ヶ月間でした。仕事は大事ですが、家族はもっと大事です。

女性のみならず男性でも育児時間等の制度を取得できる寛容な職場環境であると思いますので、男性が制度を利用して育児の経験を少しでも多くした方がいいと思います。私は、今後も制度をうまく活用して、仕事も一生懸命に、育児も大切にしながら毎日を過ごしていきたいです。

女性職員の活躍

近年、女性の活躍がめざましいなか、当局では女性職員が年々増加しているとともに、性別に関係なく活躍できる場が広がっています。中部地方整備局の女性の働く割合は40歳未満で事務系職員が約40%、技術系職員が約20%です。技術系職員はまだ少ないように見えますが近年1～5年目の技術系職員は約30%を占めています。技術系職員で入省しても家庭と両立しながら活躍している女性職員もたくさんいるので技術系の女性の方でも安心して入省できます。県域を越えたスケールの大きいインフラ事業や防災事業など“中部の未来”へ、そして“日本の未来”へつなげる仕事を私たちと行いませんか？



昭和62年度入省／行政
総務部人事課
課長補佐

松田 千景

私は現在、総務部人事課でワークライフバランスを確立するための取り組みや、研修計画を立案する仕事をしています。今は3人の子供達も手が離れ、テレワークを活用しながら、義母の介護と仕事を両立させて、やりがいを持って毎日を送っています。

妊娠・出産・育児そして介護など、仕事と両立していく上で悩むことも多いかと思います。しかし、中部地整では大勢の職員が家庭と仕事を両立しながら働いています。制度はもちろん整っていますが、それ以上に、その制度が使いやすくそして相談しやすい職場環境が整っているからだと思います。男性、女性にかかわらず、やりがいを持って退職まで働ける職場だと思います。是非一緒に働いてみませんか。

新しい働き方

中部地方整備局では、テレワークやフレックスタイム制を活用した「新しい働き方」に取り組んでいます。ライフスタイルにあった働き方ができるテレワークやフレックスタイム制を活用することで、職員一人一人にとって働きやすくなるような職場を目指しています。



平成16年度入省／行政
総務部人事課
係長

櫻井 美里

私は職場パソコンの貸与を受け、週1回テレワークを行っています。テレワークで浮いた時間は、ウォーキングなど自分時間や子供と向き合う時間として活用しています。「今日はお母さんテレワークだね!」と子供が保育園からの帰宅を楽しみにしてくれ、子供も私も嬉しい働き方になっています。

私の業務は職員からの問い合わせが多く、テレワーク時はメールの量が増えることが悩みですが、データ整理や考える作業は集中して行え、効率よく作業できていると感じています。また朝夕でWEB打合せを上司や同僚と実施し、自宅に居ながら職場の状況もわかるので、安心して業務を進めることもできます。今後はテレワーク時に休憩時間の追加を利用し、子供の習い事の送迎時間を生み出す計画でいます。数年前には考えられなかった働き方ができる環境に感謝しつつ、毎日楽しく仕事をしています。



平成23年度入省／農業土木
北勢国道事務所 計画課
係長

築地 静

5歳の息子を夫婦で育てながら、自宅から近い事務所で道路計画・予算管理の仕事をしています。道路は人々の暮らし、救命、経済活動のために不可欠で、道路の計画的な整備・維持管理に携わる責任とやりがいを感じています。忙しい毎日ですが、周りに支えられて母親と仕事の両立ができています。もちろん多くの女性職員が活躍しています。分かりやすく見栄えする説明資料の作成、細やかな視点からのチェック・パトロールなど、土木の世界でも女性の感性が求められる時代です。私自身、テレビ出演や開通式典の司会といった華やかな出番をいただいたことも!先日、所属の課で登山に行きました。先導してもらい、時にペースを合わせてもらい、激励してもらって皆で登頂し、振り返ると達成感と楽しい思い出ばかりが残っています。仕事に似ています。私も地整を先導できる職員になれるよう頑張ります。中部地整の仲間、募集してます!



平成8年度入省／土木
企画部企画課
係長

飯岡 祐介

テレワークを実施したことにより、生活の面ではまず通勤時間について家事など家族のために使う時間が増えました。朝は妻と子供の朝食づくりや洗濯など家事を行い、また通勤時間が無い事で、フレックス(時差出勤)を併用することにより、始業時間及び終業時間を早めることで、夕方子供とキャッチボールを行ったり、宿題を見たり、妻の家事を分担することができています。

仕事の面では、出勤でなければできない打合せ等と、テレワークでできる会議資料作成や議事録作成などを分けることで、効率よく業務を行うことができています。このようにテレワークを使うことによって「ワークライフバランス」を保ちつつ、仕事と家庭を両立できる新たな選択肢ができ、その人その人にあった働き方が実現しやすい職場になったと思います。

※職員の経歴は一部抜粋しています。

20代 係員クラス

関係部署との連絡調整や上司の指示に従い業務に携わります。



平成29年度入省／行政
木曽川下流河川事務所 占用調整課
上野 史織

「人のためになる仕事をずっと続けたい」という思いと、説明会での職員の方々の雰囲気の良さから、整備局を志望しました。

現在は河川管理業務を担当しています。洪水等の自然災害の被害から地域住民の皆様の安全を守るための業務なので、責任を痛感する場面も多いですが、その分大きなやりがいを感じます。

職場の先輩方は優しい方ばかりで、とても穏やかな雰囲気の中で仕事ができています。最近では女性職員も増えているため、仕事だけでなく私生活においても色々相談することができ、とても働きやすいです。男女問わず活躍できる活気ある職場だと感じています。

今後も様々な分野の業務を幅広く経験し、中部地域の発展に少しでも貢献できるよう、精一杯努力していきたいです。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



平成28年度入省／農業農村工学
河川部河川管理課
河瀬 真希

私は、インフラ整備によって多くの人の命を守る仕事であることに魅力を感じ、入省を志望しました。様々な業務を経験する中で、災害から人の命を守るだけでなく、人々の生活を支え、地域の活性化に貢献できることも実感し、とてもやりがいを感じています。

入省したばかりの頃は、専門的な知識が足りていないのではないかと不安でしたが、若手職員向けの研修や勉強会、上司や先輩のサポートのおかげで、今では不安を感じることなく仕事ができています。まだまだ分からないことばかりですが、周りには女性職員や若手職員も多く、相談しやすい環境なのでいつも助けてもらっています。

今後はもっと経験を積んで、地域の安心・安全や活性化に、より一層貢献できるよう努力していきたいと思っています。

30代 係長クラス

資料作成や関係部署との連絡調整といった具体的な業務の責任者となります。部下への指導も重要な役割です。



平成23年度入省／行政
静岡県道事務所 管理第一課
係長
清川 源太

県を跨ぐ広域的な道路の整備等、大規模なインフラ整備に携わってみたいという思いから、中部地整を希望しました。

現在の私の主な仕事は道路管理業務で、道路法に基づく手続きや他の道路管理者との協議、また台風や大雪の際には災害を防ぐため、事前に道路の通行止めを行う等、防災に関する仕事を行っています。道路管理は初めてなので分からないことばかりで大変なこともあります。新たな知識や経験を得られるため、充実した毎日を過ごしています。また、道路を利用する方からの問い合わせや要望をいただくことが多く、改めて道路が地域の皆様の生活の一部になっていることを感じるとともに、自分の仕事で安心・安全な生活を守ることに役立っていることを実感し、非常にやりがいのある仕事だと感じています。

今後も、様々な分野の仕事に携わり、多くの知識と経験を身につけて、地域の方々の安心・安全な暮らしを守るために取り組んでいきたいと思っています。



平成28年度入省／土木
三重河川国道事務所 調査課
係長
関谷 雄大

中部地方整備局には多くの魅力があります。中でも「事業規模や社会貢献の大きさ」は、他の職場ではなかなか感じることでない最大級の魅力だと思っています。

私は現在、三重県を流れる鈴鹿川、雲出川、櫛田川、宮川の河川整備の計画を立てたり、見直したりする業務に携わっています。例えば、気候変動の影響により、降雨量が増大し、海面水位が上昇すると予測されていますが、そのような状況でも、効率よく被害を最小化できるような整備メニューを考えています。自分の考えたことが、地域の安心・安心につながることは、大きなやりがいとなっています。

中部地方整備局の仕事の根本には常に「地域のために」という精神があります。また、上司の導きや同年代の係長との連携、部下の協力により、チームプレイで明るく前向きに日々取り組める仕事環境があります。

私は、今後も「地域のために」の精神で仕事に取り組み、自分も成長していきたいと考えています。

40代 管理職クラス

課の責任者として、課全体のマネジメントを行います。



平成9年度入省／行政
北勢国道事務所 用地第二課
課長
高橋 里美

「人をつなぐ」「人とつながる」仕事がしたいという思いで入局しました。現在所属している用地第二課は東海環状自動車道の用地取得業務を行っています。その内容は「土地の測量」「物件の調査」「補償金の算定」「用地交渉」「契約の締結」「登記」と多岐にわたり、早いもので20年以上用地取得業務に携わっていますが、今でも新しいことの連続で刺激的な毎日を過ごしています。

公共事業といえども個人の貴重な財産をお譲りいただくので、皆様のご理解、ご協力があってこそその仕事です。地域や自治体の方などたくさんの人に支えられ、信頼関係を築きながら仕事をさせていただくことに面白さを感じています。自分が用地取得業務に携わった道路が開通し、地域の方から感謝の言葉をいただいた時は、心が熱くなります。この心に残る仕事にあなたも「つながって」みませんか？



平成8年度入省／土木
三河港湾事務所 企画調整課
課長
河合 尚男

就職する際はどちらかというと「港湾」というより「みなと」という人が集まる賑わいのイメージを持って就職しました。その漠然としたイメージを持ってスタートして20年余り経ちます。これまで、設計や工事発注などの事業実施にかかる業務や、本省や研究所の勤務における専門性の高い業務など、多様な経験を通じ自分の考え方と一致した時の満足感や、そうでない場合の戸惑いを繰り返してきました。ただ、そのギャップを埋める事ができる職場であり充実感は満載です。

現在は、愛知県にある三河港と衣浦港の新規事業の発掘に携わり、「港湾」が日本経済の中で欠かせないインフラである事を改めて実感しています。今でも「港湾」という言葉一つとっても仕事の幅が非常に広い事から、日々興味を失う事はありません。

これから就職を考える皆さん、人の集まる「みなと」であり、経済・生活を支える「港湾」というフィールドで仕事ができます。

50代 幹部クラス

局や事務所の責任者として組織の意思決定や指揮・命令を行います。



平成2年度入省／行政
総務部
人事計画官
前田 幸則

皆さんが就職先を選ぶときに重視することは何でしょうか。

私の場合は、「仕事内容が魅力的か」でした。人々のため、地域のために働きたい、そしてスケールの大きな仕事がしたいという思いから、地方整備局を志望しました。整備局の仕事は、河川や道路など私たちの暮らしを支えるとともに未来の中部を育む分野であることに魅力を感じ、入局を決めました。

仕事のやりがいは、地域の方々とコミュニケーションを重ね、安全・安心な生活のため、豊かで円滑な経済のためにみんなが納得できるものをつくることだと感じています。多くの人と話し合いを重ね、作り上げていくことは何事にも代えがたいこの仕事ならではのやりがいではないかと思っています。

今も仕事で悩むことがあります。30数年前の志望動機を思い出しながら一つずつ自分にできることをしっかりと行っていきたいと思っています。

皆さんもご自身が重視することを大切にして下さい。



昭和61年度入省／土木
企画部
事業調整官
竹下 康則

国土交通省の役割の一つに、国民や企業などの基本的な社会経済活動の基盤を整備する（いわゆる、社会資本整備）と言う仕事があります。皆さんが入局した後は、いろいろな基盤を整備する仕事に携わることが出来ます。

私は、入局以来、国の基盤整備（社会資本整備）の最前線で日々やり甲斐を感じながら仕事をしています。例えば、中部地方の10年後の姿を描く為の計画の立案、道路関連の国家的プロジェクトや中部地方整備局管内の国道バイパスの整備などの社会経済活動を整える仕事などです。

皆さんも、整備局に入局すれば、やり甲斐の有る仕事があります。是非、一緒に働きましょう。

事業の流れ

技術系の仕事



平成14年度入省／土木
企画部広域計画課
係長

山田 真理子

中部で暮らす誰もが快適で安全・安心な生活を送ることができるように、中部圏の将来像や主要事業の施策を考えることが企画部の仕事です。私は概ね10年の中部の地域づくりの方向性や具体的な戦略を示す新たな「中部圏広域地方計画」の効果的な推進に向け、計画の検討及び取り組みの進捗管理を行う事務局を担当しています。

リニア中央新幹線（東京～名古屋）の開業を見据え、リニアの効果を最大限発揮し得る中部圏づくりとして「暮らしやすさと歴史文化に彩られた“世界ものづくり対流拠点-中部”」を目標として掲げ、目指すべき中部圏の将来像の実現のため、国、地方公共団体、経済団体等が連携して、様々な取り組みを推進しています。



平成30年度入省／土木
岐阜国道事務所 計画課

山本 彩依

私は現場見学会等の広報や41号飛水峡街道上麻生防災事業の設計、測量の業務等、様々な業務を行っています。調査を行い、いろいろな観点で考えながら設計を行うため、難しく感じるがありますが、関係機関と何度も打ち合わせを行ったり、周辺住民の方々に説明を行ったりしながらよりよい道路になるよう設計を進めています。

昨年度には上麻生防災事業の起工式がおこなわれ、自分が携わったトンネルや橋梁の設計が、工事着手し、何もなかった場所に構造物ができることを考えると、とてもやりがいを感じます。



平成30年度入省／土木
岐阜国道事務所 工務課

河田 祐奈

私は現在「東海環状自動車道」西回り区間の工事発注に携わっています。契約前の工事費の積算においては、数億から数十億もの予算を取り扱うことから責任の大きさに不安を感じつつ、適正に行うため緊張感を持って行っています。契約後においては、施工業者や設計コンサルの方と連絡を密に取り、滞りなく工事を進められるように努めています。

専門的な知識を多く求められるため戸惑うこともあります。たくさん現場に足を運ぶことや周りの方々の力を借りることで解決し、工事が無事に完成まで至ったときの達成感はとても大きくやりがいを感じます。



平成12年度入省／土木
岐阜国道事務所
建設監督官

伊藤 誠二

私は工事の監督や指導を主に行っています。また関係自治体との調整や地元住民への工事説明などを行っています。工事では、事故を起こさない、品質の良い物を作る、工事により地域住民の方には負担をかけないという気持ちで施工業者を監督・指導して工事を進めています。土木構造物は、人の手では造るのが困難そうな大きい物でも現場作業員さん含め、多くの関係者が関わり徐々に徐々に完成に近づきます。それを間近で見て携わりながら、事故無く良い物が完成したときには微力ながらも貢献できたのかなと嬉しく思います。そして、今後も形として地図として残ることに大きな喜びを感じます。地域住民の方から工事への応援や開通を待ち望む声を聞くことが多くあります。重要な事業に携わっていることを肌で感じて大きな責任と使命感を感じますが、それがやりがいに繋がり情熱を持って仕事に取り組むことができます。



平成31年度入省／土木
岐阜国道事務所
管理第二課

菅沼 美紀

管理第二課では、国道を安全、安心にご利用いただくため、道路の維持管理及び交通安全、防災等に関する業務・工事の発注を行っています。「生活に欠かすことのできない道路の安全を守る、道路をより安心してご利用を続けていただくために」という使命のもと、日々の仕事に取り組んでいます。道路の維持管理では、道路構造物等について点検を行い、その結果に基づき老朽化した構造物の補修を行います。加えて、地震等の災害時も道路供用を続けるための耐震補強、落石等の災害を防止するための防災対策等、安全のための対策を行っています。また、交差点改良や電線共同溝等の事業を行い、より安全で快適な道路空間の整備を行っています。工事後により快適な道路としてご利用いただけていることを実感した時、人びとの生活を支える道路の安全に携わっていることに大きなやりがいを感じます。



企画



地域のビジョン
(国土計画、地方計画等)や
方針・計画を策定



調査設計



事業を実施するのに
必要な現状調査や経済性評価、
環境影響評価、設計等



用地取得



事業に必要な土地の取得や
それに伴う建物等の移転補償



契約



工事の設計チェックや積算、
業者の技術力審査、予算の管理、
決算などの経理事務、請負契約の締結、
国有財産の管理等



工事



工事の監督・指導、
地元や関係機関との調整等

完 成



管理



河川・ダム・道路の点検、
パトロールや維持・修繕等、
河川・道路利用の許認可事務、
国有財産の管理等

技術系・事務系共通の仕事



平成17年度入省／行政
総務部総務課
係長

岩田 礼司

広報係ではほぼ毎日、各担当部署からのお知らせ（報道発表）を報道機関へ提供しています。みなさんにわかりやすく、伝わる発表資料にするため、担当者として日々連携をとることを心がけています。様々な部署の職員と接し、それぞれの担当している業務を詳しく知ること、中部地方整備局が担っている多岐にわたる役割の重要性を理解できることも広報業務の魅力のひとつです。

記事に取り上げられ、注目された報道発表を分析することで、注目されやすい資料の作り方や、世間の関心事の傾向を学んでいます。

また、職員を対象とした広報研修を開催し、組織全体の広報スキルアップにも取り組んでいます。入省間もない職員も、担当する職務に関わらず広報に携わることができ、積極的に発信する機会があります。自分の仕事を多くの人に知って頂くことでやりがいを感じることができると思います。

事務系の仕事



平成8年度入省／行政
岐阜国道事務所 総務課
専門官

石樽 久修

私は現在、業務で職員が使用する自動車の配車計画を日々作成したり、行政文書の管理について事務所内でとりまとめをしたりしています。今年度は、新型コロナウイルス対応でテレワーク勤務が積極的に推進されたことで、機器や執務室環境を整備したり、テレワークの実施内容を職員へ周知したりと突発的な業務も行っています。

総務課は、用地課や工務課などとは異なり、事業に直接関わりがある部署ではなく、現場に行くこともありませんが、事務所が円滑に業務を進められるように縁の下の手持ちとなって頑張るところだと思いますし、職員から頼りにされるとうれしくなります。

また、事務所の窓口として一般の方からの問合せにも対応することがあり、できるかぎり丁寧に、事務所でも対応しきれないときは対応できそうなところを案内するなど問合せした方の役に立てられるよう心がけてお話ししています。

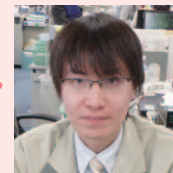


平成26年度入省／行政
岐阜国道事務所
用地第一課
係長

伊藤 裕介

私は現在、道路の交通安全や防災に関する事業の用地取得に携わっています。事業に必要な用地をお譲りいただくため、土地や建物などを調査し、土地代金や建物移転料等を算定して土地所有者の方へ補償内容を説明します。簡単には応じていただけない場合もありますが、何度も足を運んで丁寧に説明をし、契約できたときにやりがいを感じます。

契約後は土地の登記や補償金の支払などの事務を行います。その後工事が施工され、自分が用地取得に携わった箇所の工事が完了したときには、更にやりがいを感じます。事業を進めるためには土地所有者や地域住民など関係者の協力が必要不可欠であるため、関係者の方と接する際は、お話しする時間を頂けることに感謝し誠意をもって対応するよう心がけています。



平成26年度入省／行政
岐阜国道事務所 経理課
係長

山下 昌宏

私は道路に関する計画・調査・設計業務の発注・契約事務を担当しています。国土交通省が行う業務は、国民生活の基盤となる大規模な社会インフラの整備に関わるものであるため、その手続きにミスがあると、国民の皆様や事業者の方を始め、多くの方々に多大な悪影響を及ぼします。そのため、課内や所内の関係部署と綿密に打合せする等、慎重に事務を進めています。

「社会インフラのスムーズな整備には、発注・契約事務をミスなく進めることが必要不可欠だ」という思いで、日々やりがいを感じながら、仕事に取り組んでいます。



平成28年度入省／行政
岐阜国道事務所
大垣維持出張所 係長

坂本 晃啓

私たちが管理している国道は道路網の骨格を形成する幹線道路であるため、事故等が発生した場合、道路を使う人に大きな影響がでる恐れがあります。そのため、いち早く道路の異変に気づき事故や災害を防ぐために、日々道路のパトロールや施設の点検を行っています。

また、出張所は道路管理の窓口になるので様々な要望や相談が来ます。難しい事案に対しては独りで考え込むのではなく、周りの人と相談しながら対応していきます。

道路という生活に欠かせないものを管理するという仕事に責任とやりがいを感じ、日々業務に取り組んでいます。

若手職員の日常

行政系



より多くの経験を積みたいと考えておりますので、防災以外にも、様々な場所で様々な業務に携わっていきたいと考えております。

平成30年度入省／行政
防災室
杉山 久浩

ONE DAY



出勤

自宅から職場までは30分です。始業開始の10分前には出勤しています。



仕事開始※

今日のスケジュール、メール、やるべきことを確認。



打合せ

業者の方とWeb会議。



昼食

昼食は室内の若手職員と集まって食べております。



内業（資料作成等）

午前中の打合せ結果を踏まえ資料の作成等をしますが、一人では進められないので、所属外の人も協力して進めます。



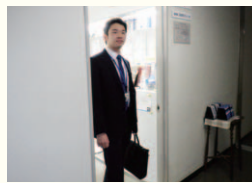
打合せ結果や今後の方針等の説明（補佐へ説明）

作成した資料を基に、今後の業務の方針等を補佐に説明します。



退庁※

明日やるべきことをメモして退庁します。真っ直ぐ帰ることもあれば、仲の良い同期や先輩とご飯に行くこともあります。



※標準的な勤務時間は8:30～17:15(名古屋市内に勤務する場合は9:15～18:00)です。

技術系



幅広い仕事内容があるなかでより多くの経験を積み、中部地方の安全・安心に貢献できるよう努めていきたいと思っています。

平成30年度入省／土木
木曽川上流河川事務所 工務課
相崎 結衣

ONE DAY



出勤

家から事務所までは車で20分。始業時間の10分前には出勤します。



仕事開始※

まずはメールや1日のスケジュールを確認します。



打合せ（施工業者と）

工事の施工内容に関する問題点や課題について、図面等を用いて施工業者の方と打ち合わせをします。



昼食

昼食は同じ事務所の若手職員で集まって食べています。



現場視察

午前中の打合せで確認した箇所について、実際に現地に行き理解を深め、今後の方針や対応を考えます。



課題等について上司に報告

打合せ及び現場視察で確認したことを上司に報告し、方針や対応を決定します。



打合せ（経理課と）

問題点の対応等により工事の内容が変更になる場合は変更契約をするため、契約スケジュールや変更内容について経理課と調整をします。



退庁※

明日のスケジュールを確認し、本日の業務は終了です。



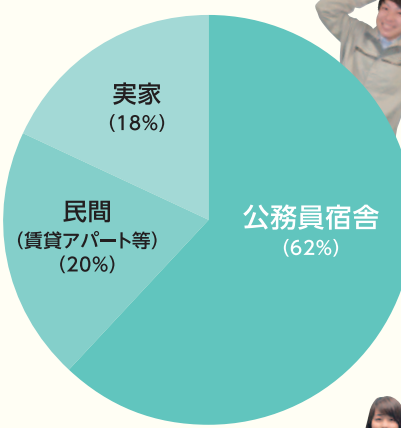
若手職員アンケート



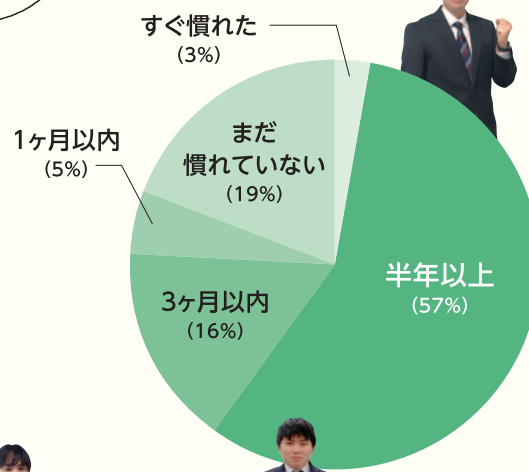
通勤時間はどのくらいですか？



現在どのような住宅に住んでいますか？



仕事に慣れるまでどれくらいでしたか？



次ページへ

令和2年度入省の若手職員に就職活動をしていた頃の話や、今の職場で感じている想いなどを聞きました

GO!



若手職員のVOICE

幅広い地域の方に利用される建築を作りたいと考えていたからです。



建築／営繕部
整備課
北嶋 里緒菜

中部地方整備局に
入局した決め手は
何でしたか？



規模の大きな業務に携わることができること、
同期や女性職員の人数が多く
交友関係を広げられると思ったからです。



土木／木曽川下流河川事務所
調査課
杉山 ありさ

平常時にも災害時にも地域に頼られる
施設・庁舎を整備すること。



建築／営繕部
整備課
前川 耀太郎

仕事を通して
実現したいこと・
夢はなんですか？



自分の携った道路が完成したら、
思い出に浸りながらその道路を走りたいです。



行政／名四国道事務所
用地課
西 勝史

働く職員の姿を見て、私も中部地方における
大きな規模の仕事に携わりたいた
と思ったからです！



土木／新丸山ダム工事事務所
工事課
柱野 真也

「新しい道路をつくる仕事に携わりたい」
という夢があったからです。



土木／飯田国道事務所
計画課
飯田 奈々

スケールの大きい業務内容や、
職員の雰囲気の良さに魅力を感じ、
入局したいと思いました！



行政／木曽川下流河川事務所
用地課
岡田 真奈

自分で道路を計画、建設、修繕したことで
地域の人々に喜んでいただける
瞬間に立会いたいです。



土木／三重河川国道事務所
計画課
藤井 爽太

＼Catch your dreams!／



自身が計画・発注したものが
実際に形となり、人々の役に立っていることを
自身の目で見たいです。



電気・電子・情報／企画部
情報通信技術課
小笠原 友哉

一級河川に関わる仕事がしたかったからです。
国でしかできない大規模工事に関われる
ことが魅力です！



土木／設楽ダム工事事務所
工事課
花田 浩平

説明会での職場の雰囲気の良さや、
仕事に対するやりがいを感じられると思い
入局することに決めました。



土木／岐阜国道事務所
工事課
近藤 貴仁

防災・安全のための防波堤整備から
賑わいの創出のための旅客船受入など、
幅広い仕事に関われること！



土木／名古屋港湾事務所
工事課
横山 暁大

中部地方を世界一水害に強い
地域につくりかえること！そして誰からも
信頼される河川管理者になることが夢です。



土木／天竜川上流河川事務所
調査課
後藤 佑樹

地域の方が安全・安心して利用できる
道路整備をしていきたいです。



土木／静岡国道事務所
管理第二課
澁谷 真由

南海トラフ巨大地震などの大規模災害から
被害を減らすため、地震津波対策事業に携わり、
人々を守りたいです。



土木／清水港湾事務所
保全課
町本 渉

アフター5は
何をして
過ごしていますか？

同期や先輩と食事をしたり、
事務所内でテニス部を結成し、
部活動にも取り組んでいます。



土木／三重河川国道事務所
道路管理第二課
田中 真尋



主に家事をしています。料理が好きなので、
平日はほぼ毎日自炊しています。



行政／河川部
水政課
鵜飼 真帆

仕事内容以外にも、異動により
中部地方の様々な魅力を知ることができます。
ぜひ検討してみてください！



土木／新丸山ダム工事事務所
調査課
松原 翔太郎

来年入局を
考えている後輩に
メッセージをお願いします



私が仕事で携ったトンネルが開通した際には
とても感動しました。皆さんにもこの気持ちを
味わって欲しいです！



行政／高山国道事務所
管理第一課
野村 夏未

同期とご飯に行ったり、
趣味の筋トレやランニングをしています。



土木／静岡国道事務所
計画課
國島 範行

ジムに行ったり体を動かしています。事務所の
バレーボールサークルにも参加しています。



土木／木曽川上流河川事務所
河川環境課
佐々木 貴教

同じ課の先輩職員と
ラーメン食べに行ったりしています。



行政／港湾空港部
港湾空港防災・危機管理課
浅井 隆誠

大きな事業なだけ、その分仕事に責任感も
ありますが、その分達成感も大きいです。
一緒に頑張りましょう！



土木／静岡河川事務所
工事課
森田 雅治

入局前後のイメージのギャップは
ほとんどありません。入局を考えているのなら、
自信を持ってお勧めします！



行政／紀勢国道事務所
用地課
橋本 達矢

責任が重く大変な仕事ですが、その分国民の
安全を守ることに役立っていると感じます。
ぜひ一緒に働きましょう！



土木／三河港湾事務所
企画調整課
笠田 龍輝

部屋にある電子ピアノを弾いて
趣味を楽しんでいます。



土木／浜松河川国道事務所
調査課
岩田 詩歩

＼Let's enjoy!／



ゲームをしながら筋トレトレーニングを
しています。余裕が出来たら、
ジムで身体を鍛えたいです。



土木／港湾空港部
港湾事業企画課
本石 圭

＼Do your best!／



日々新しい発見があり、様々なことを
学ぶことができる職場です。皆さんと
一緒に働ける日を楽しみにしています。



土木／
名古屋港湾空港技術調査事務所
技術開発課
河合 宏明

充実の研修体制

採用直後の研修で国家公務員としての使命や心構えを自覚。さらに不安も払拭。

中部地方整備局では、国家公務員としての使命や心構えを自覚できる採用直後の研修から、専門的な知識・技術を身につけてスキルアップする研修まで充実した研修の体制が整っています（Off-JT：計画研修）。さらに、若手職員に対し、育成責任者及び育成担当者を定め、職務内でのコミュニケーションを通じて幅広い経験を積ませる等、組織全体で育成を行う「若手職員育成プログラム」を行っています（OJT：職場内研修）。研修等を通じて、必要な基本スキルを身につけていくことで、目指すべき公務員像に近づいていくことが出来ます。

計画研修受講のながれ

		入省直後	1年目	2年目	以降、従事する職務や、各個人の希望に応じて、様々な研修に受講し、スキルアップをはかります。
事務系	初任職員	初任事務	入札契約・ 公物管理基礎	▶ 中堅事務 ▶ 入札契約制度 ▶ 経理事務・用地事務（初級・上級） ▶ 管理基礎（河川・道路） ▶ 中堅係長Ⅰ・Ⅱ など	
		新任技術Ⅰ （前期）（後期）	入省後、一定期間の実務経験を積んだあとのフォローアップとして、実戦的基礎知識を習得	▶ 若手スキルアップ ▶ テックフォース・無人航空機（ドローン） ▶ 新任係長、広報 ▶ 男女共同活躍推進 ▶ 管理職マネジメント など	
技術系				▶ 機械基礎・電気通信基礎 ▶ 河川・道路・港湾技術基礎 ▶ 基礎技術（測量・舗装・安全管理・自然共生） ▶ 橋梁初級・道路管理エキスパート ▶ インフラDX推進・災害査定 など	

このほか、国土交通大学校（東京）での研修を受講し、より専門性の高い技術の習得も目指します

初任職員研修

中部地方整備局職員としての自覚を身につけてもらうとともに、社会人としての教養や公務員の基礎知識の他、仕事をする上で最低限必要となる知識、技術等の習得の他、同期との親睦を図ります。



グループ討議・発表



同期との親睦

充実した人材育成制度

Off-JT

計画研修

講義や現場研修で集中的に知識を学習



研修施設・Webでの講義や現場研修、民間企業のノウハウを学ぶ派遣研修等を実施しています。

OJT

職場内研修

日々の業務を通じ仕事のノウハウを学習



日常の業務を通じた上司とのコミュニケーションにより、仕事に対する不安を取り除き、仕事の進め方等のノウハウを指導しています。



テックフォース研修

災害時にテックフォースとして派遣される可能性のある職員に、被災状況調査、応急対策の実動業務訓練等の実務を通じ、TEC活動の幅広い知識・技能を修得し、実行力のあるTEC-FORCE隊員を養成します。



被災状況調査研修

※研修施設や現場研修では、新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。

人事採用関連 Q&A

Q

一般職試験採用者の初任給はいくらですか？

A

大卒程度：185,200円
高卒程度：154,600円（令和5年4月1日現在）
その他、勤務地に応じた地域手当等の各種手当があります。

【例】名古屋市内の場合
大卒程度：212,980円／高卒程度：177,790円

Q

異動は何年くらいで行われますか？

A

一概には言えませんが、概ね2～3年程度が一般的です。本局（三の丸・丸の内）、愛知・岐阜・三重・静岡・長野（一部）の各県にある事務所に勤務することになります。もちろん、全ての異動が転居を伴うものばかりではありません。異動が一番不安になる方が多いと思いますが、いろんな地域の方々と交流を図ることによって地域への親しみが湧き、広い視野で仕事ができるようになります。周りの職員もしっかりフォローしてくれるので心配はいりません。また、異動に伴い転居した場合には、引っ越し費用などの赴任旅費が支払われます。

Q

宿舎はありますか？

A

各事務所の通勤圏内に宿舎が用意されています（入居状況によっては利用できない場合があります）。なお、賃貸アパート等を借りる場合は住居手当（16,000円を超える家賃の額に応じて最高28,000円）が支給されます。



Q

現場に出る機会が多いですか？

A

行政、技術に関わらず、従事する業務によってさまざまですが、私たちの仕事は現場を確認しながら進めていくことが重要なので、比較的現場に出る機会も多いと思います。また、内業が多い業務に従事した場合でも、各事務所で実施する現地調査や研修中に行う現地研修などで現場を見に行く機会はたくさんあります。

Q

勤務時間は？
休暇は取れますか？

A

勤務時間は8:30～17:15（名古屋市内に勤務する場合は9:15～18:00）となっています。フレックスタイム制度を利用して一定時間内で自由に勤務することもできます。休暇については年間20日（初年度は年間15日）の年次休暇（20日までは翌年に繰越可能。最大40日）や3日間の夏季休暇、その他病気、結婚、忌引、介護等による特別休暇があります。計画的に仕事をしていれば、休暇は取りやすい環境です。

Q

残業や休日出勤はありますか？

A

担当業務や時期によっても異なりますが、業務の都合上、必要となる場合があります。また、休日出勤・夜間出勤は通常ありませんが、災害時・緊急時には出勤を求められることがあります。その場合は、振替制度があり他の平日を休日にすることができます。

Q

学部・学科によって有利・不利はありますか？

A

やる気があれば、学部・学科は関係ありません。どのような専攻の方でも活躍できる場面がたくさんあります。業務上必要な知識やスキルは研修などを通して働きながら習得していきます。自信を持って挑戦してください。

Q

学生生活で学んだこと（研究等）は仕事にいかせますか？

A

仕事をする上で、皆さんが専攻された分野の知識を活かすことも出来ますが、当然、新たな知識の習得も必要になります。その際は経験豊かな上司が支えてくれたり、充実した人材育成制度もあるので心配はいりません。また、勉強以外の学生生活で学んだことは皆さんの個性であり、財産です。皆さんの個性をぜひ仕事に活かしてほしいと思います。